

刊夕 日三十二月一



新刊 新報 新報社

相当苦しい新豫算

結局四十五萬圓位か

明日あたりから提出案の調査

平市では明十五年度豫算に對するが今十四年度の實行額を各課の要求を取らぬ編成を急いで明二十四日頃から總務課に着手するもの如く而して新豫算の方針は上局に於て生産擴充計畫及び事業關係の増強は或る程度まで認められるとして諸物の昂騰等に特別な考慮を置くところなく徹頭徹尾前年度當初豫算の範圍内に止めよと云ふので結局四十四、五萬圓に抑へやうとしてゐる模様で

平市 百倍の敵を引受け 果敢急射撃を浴せ

死闘實に數時間救援隊にて 敗走せしめたが遂に戦死

小野利重上等兵、平市銀治町一六出身、森川部隊に屬して六日僅々〇名の戦友と津浦線大紋口附近の鐵道警備中われに百倍する五百餘の敵軍が線路を横断せんとするを發見し果敢にもこれを撃退すべく急射撃を浴びせ押寄せたる敵軍を引受けて死闘數時間、救援隊により敵の鐵道破壊も受けず横断もせず敗走させよとも持ちこたへて鬼神も避ける阿修羅の奮闘を續

支那單語

長いは同じ長だがチア、短いは同一字の短でトワン、廣いは辛でチア、早いは早でツア、速いは快と稱へてクワイと云つて

平驛の中旬貨物 上旬に引續く活況

舊年末に切迫ます 輻輳

三千三百余圓の收入増

平驛今一月中旬の中旬貨物は舊年末に到るところ半に差迫り上旬に引續いて活況を呈してゐる其の動態は 發送二九〇噸(一三〇) 九八九噸増 到着五四一〇噸(八九九三)三五八噸減 收入七八一〇圓(四六〇五圓)三三〇六圓増(括弧内は前年同期) 到着の數量減は警發發電用の燃料炭が昨年六八八五噸であつたのが今年三一八噸に止まるのが主なる原因で一般貨物には影響がなく收入の黒字は上旬の五千八百四圓以上(前年同期)

静岡市大火の義金 平愛婦で既に八百圓余

追加は左記十一分區の募金

平市愛婦分會に於ける静岡大火に際する募金は昨報の如く九分區昨正午までの分で四百十五圓八十六圓に達し其の後に於けるもの田町分區の越えるであらう

戦地の便り

大陸に立ちて 責任の大を痛感

皆様御變りご座りませんか 陳者、私儀先般重任を拜し まして其の途につきます節 は萬端御配慮を頂きまして 只々感謝の外御座りませぬ 謹んで厚く御禮申上げます 御座るに一路恙なく任地に 到着いたしましたは益々元 氣で居りますから何卒御安 心下さい、今大陸に立つ て其の任や重く其の責い や大なるを痛感いたします と共にひしひと胸を打つ ものは皆様の熱誠ある、 御聲援御鞭撻であります、 生々しい感激の思ひ出が次 から次からと盡きません此 の上は愈々粉砕身もつて 盡忠報國の重責を完うする と共に誓つて皆々様の御期 待に副ひたい念願であります、 今後共に何卒よろしく 御指導御鞭撻のほどを御願 いたします、略儀まことに 失禮と存じます不取敢御 挨拶申上げ度併せて遙かに 皆様の御健康と御多幸を御 祈り致します、さようなら

江名南町地先き 埋立免許さる

石城郡江名漁業組合では同町 南町地先き公有水面變更埋立 ての件を許されたが面積三千 七百七十四坪餘、向ふ一ヶ年 以内に竣功のことになつて 用途は船塢場となすもの

小名濱信用總會 石城郡小名濱町信用組合の總

のであつた。北京に行つた時 高壽山を案内して呉れた人は 有名な高壽山をと得意になる のを見て、高壽山も白髮三千 文式で、美しいのは形容式文 けで、實物は中支に於けるそ の如く、つまらないのであ つと云はされる程度のもので と思つて行つた。處が驚いた 世界にこんな存在があつたの かと驚いた。吾々は京都の金 閣寺や銀閣寺を參觀したもの、 標本の様に敷へられてゐる、

静岡大火に同情 平市三丁目裏三田小路カフエ

平市三丁目裏三田小路カフエ 一會館女將高田まささんは 昨廿二日が市内驛前通りに營 業中大火に遭つた七年目に當 るので静岡大火の罹災者に同 情が起り金十圓の義金を平市 に寄託した

植田で警防檢閲 石城郡植田町ほか勿來、川部

石城郡植田町ほか勿來、川部 三ヶ町村警防團の檢閲は來る 三十日佐藤警防課次席により 植田校に於て行はれる

人絹職工の盗み 石城郡錦村の呉羽人絹職工岩

石城郡錦村の呉羽人絹職工岩 手藤藤澤那小山村字中の藤生 九日寄宿舎の緑川倉庫係の押 入の鍵を捻切り衣類數點價三 十圓在中のトランクを窃取し て發覺二十一日植田署に檢舉

植田校武道大會 石城郡植田町小學校の寒稽古

石城郡植田町小學校の寒稽古 納會と武道用具披露の武道大 會は去る二十日行はれて薙刀 柔道、剣道の基本練習並びに 小剣士二百餘の高點試合あり 成績左記の如し

火災頻々 昨日好間と豊間に 石城郡好間村の北好間日曹小

石城郡好間村の北好間日曹小 田炭鑛第二スリ捲場から昨廿 二日午後二時頃發火同五十分 頃火から損害一萬圓、同郡 飛火から損害一萬圓、同郡 豊間村の沼の内字町地内松 山林から昨廿二日午後一時四 十分頃發火し同町警防團員そ の他駆けつけ消火に盡し同三時 頃消止めたが原因取調中で損 害は燒失面積一町歩で五十圓

二等十三人抜き高一熊 谷英行 三等十二人同 武田信重 四等十人同 大平善道 五等八人同 鈴木榮 六等五人同 高五長 瀬保 高一赤津一 高二 田城(以上)

會は來る二十八日組合事務所 開催役員改選その他を行ふ 静岡大火に同情 平市三丁目裏三田小路カフエ 一會館女將高田まささんは 昨廿二日が市内驛前通りに營 業中大火に遭つた七年目に當 るので静岡大火の罹災者に同 情が起り金十圓の義金を平市 に寄託した

植田で警防檢閲 石城郡植田町ほか勿來、川部 三ヶ町村警防團の檢閲は來る 三十日佐藤警防課次席により 植田校に於て行はれる

人絹職工の盗み 石城郡錦村の呉羽人絹職工岩 手藤藤澤那小山村字中の藤生 九日寄宿舎の緑川倉庫係の押 入の鍵を捻切り衣類數點價三 十圓在中のトランクを窃取し て發覺二十一日植田署に檢舉

植田校武道大會 石城郡植田町小學校の寒稽古 納會と武道用具披露の武道大 會は去る二十日行はれて薙刀 柔道、剣道の基本練習並びに 小剣士二百餘の高點試合あり 成績左記の如し

火災頻々 昨日好間と豊間に 石城郡好間村の北好間日曹小 田炭鑛第二スリ捲場から昨廿 二日午後二時頃發火同五十分 頃火から損害一萬圓、同郡 飛火から損害一萬圓、同郡 豊間村の沼の内字町地内松 山林から昨廿二日午後一時四 十分頃發火し同町警防團員そ の他駆けつけ消火に盡し同三時 頃消止めたが原因取調中で損 害は燒失面積一町歩で五十圓

平鐵工組合の青 年學校認可 平鐵工組合では私立青年學校 の設立を組合長田邊忠造氏か ら申請、今一月十五日付で認 可された、同校の位置は市内 字堂前で今一月から開校の管

御誂ひも既製製品 高島屋洋服店 平三電三六

思ひ 大森 勇 支那の文化は日本の文化の生 みの母とまで行かなくとも 先聲でもあり先格でもある のだから、あつと云はされる 様な好いものを見られること と思つて來て見たのだが、あ つと云はされることは云はさ れるが、こんなものかとつま らぬためにあつと云はされる

産業方面

負債の足洗つた 全村に朗色

疲勞のどん底に
落ちた漁村から

また経済更生計書を樹立し
組合員を十組に分ち組長一名
副組長二名を置き副組長は組
合員家族の主婦中から選挙し
組合員の冠婚葬祭及び消費経
済の相談監督を受け持ち組合長
は組合評議員を兼ね組合事務
の方針を協議し随時組合員家
族協議会を開くこととなつて
ゐる。また金融機關として互
助會を創設し一口三錢の日掛
積金を實行し少額融通を行ひ
かくて新負債の生ずるのを防
ぎ以て収入の不安な漁民の生
活に支障なきを期してゐる。
かく村民生活の安定を圖る一
方生産擴充に努め漁業協同組
合を主体として漁撈方法の改
善、指導員養成のため水産學
校入學者の給費を行ふなど水
産の向上に努める一方副業の
奨励にも力を入れ養蠶、海産
物加工、軍手内職、蔬菜類等
の二坪農業、養兔、養豚等を
すすめてゐる。

現在和船七十双、小型發動
機船四十双を有し十四年の
水揚高二十二萬圓、その主
なるものは「Sawau」
等で他に「あらび」「天草等」
産し何れも高級品として東
京市場でも高評を博してゐ
る。

以上の如き計畫が實を結び本
年から負債を脱することにな
つた同村では漁港修築工事
にとりかゝり総工費五萬七千
圓、十四年五月着工、本年秋
には竣工の豫定で同港完成の
時は回航も寄港することにな

るべく同村の發展は二千六百
年を迎へて輝く將來を約束さ
れてゐる(完り)

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

附屬産院 新設

妊産婦入院隨意

木村病院

平市新川町
電話一六四番

根本婦人科醫院

平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
(入院隨時)

大小の御宴會にホー
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂

平市四丁目(電話二三三番)

助産 氣管支 關節 神経痛 肺炎 ロイマチス
... 扁桃腺 中耳炎 骨髄 腰痛 痔瘡 痔疾 ...

生公華

九十五番
二四二番
四一四番

... 薬價 ...

... 山野 邊 藥 局

治淋 新藥 號七〇六

診療科目

- 一、齒科一般
保存科、補綴科、橋梁工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
- 一、口腔外科
- 一、レントゲン科

平市田町(松月堂向)

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日大醫學士 齋谷伍郎
主任 佐藤重義



差屋商店

九九・九電

和洋銅器、金物問屋

御婚禮着付

和洋結髪

パラメント・ウエーブ

何卒御用命の程を

貸衣裳、貸か
つら、を御利
用下さい

手塚美容院
平市新田町

安田系統の帝國海上

帝國保險株式會社

海上 代理店 關内正一
事務取扱者 阿部助次郎
平市三丁目 電話一六番

電話五九二番

飲食 喫茶
酒場を兼ねた。

レストラン ガロ

平市銀座街

新時代の要求

婦屬事業に等外看護婦を特設いたし
皆様の御用命へ身元確實なる婦人
を派出致します

平市南町 平看護婦會

電話三〇七
御手不足の御家庭
軽い御病人の付添
妊産婦の御家庭

國民精神總動員

日本國民必見の書

内閣情報部發行

寫眞週報

1部10セン

お取次致して居ります

西村屋藥局

一般印物もお引受致します

新しいわき新聞社